




**Dell DR Series システム**  
リリース 3.1 用リリースノート



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

**著作権 © 2014 Dell Inc. 無断転載を禁じます。** この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell<sup>®</sup>、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2014 - 07

Rev. A12


# 目次


<b>1 Dell DR Series システムリリースノート</b> .....	<b>4</b>
アップグレードメモ.....	4
システム情報のチェック.....	4
<b>DR Series システム：ドライブとシステム容量</b> .....	<b>5</b>
対応ソフトウェアおよびハードウェア.....	6
本リリースの新機能.....	6
未解決の問題.....	7
既知の問題と解決方法.....	12
旧リリース向けの解決方法.....	15
<b>2 困ったときは</b> .....	<b>36</b>
その他の情報.....	36
デルへのお問い合わせ.....	37
システムサービスタグの位置.....	37
マニュアルのフィードバック.....	37

# Dell DR Series システムリリースノート

3.1 用リリースノートは、Dell DR Series システムマニュアルの補完を目的としています。入手可能な DR Series システムマニュアルの完全なリストについては、[その他の情報](#)を参照してください。

リリースノートには、Dell DR Series システムに事前にインストールされたシステムソフトウェアに関する詳細が含まれています。また、最新アップデート、既知の不具合、解決方法、およびその他の情報も記載されています。

 **メモ:** DR Rapid デバイスの設定についての手順は、『Dell DR Series System Administrator Guide』（Dell DR Series システム管理者ガイド）を参照してください。このガイドは [dell.com/powervaultmanuals](http://dell.com/powervaultmanuals) で入手できます。

 **メモ:** デルからの DR Series システムマニュアルの最新バージョンをチェックしていただくことをお勧めします。

## アップグレードメモ

本トピックでは、バージョン 3.1 にアップグレードするユーザーにとって重要な情報を説明します。

- NetVault バックアップ (NVBU) 9.2 を使用している場合は、NVBU スタンドアロンパッケージで RDA をアップグレードしないでください。これは、NVBU 9.2 に NVBU 搭載 2.1 RDA プラグインに対する互換性はありません。NVBU 搭載 3.0.0.x RDA プラグインに対する互換性はないためです。NVBU 10.0 を使用する場合は 3.0.0.2 プラグインを引き続き使用することができ、プラグインをアップグレードする必要はありません。NVBU 搭載 RDA における互換性については、『Dell DR Series System Interoperability Guide』（Dell DR Series システム相互運用ガイド）の NetVault バックアップ (NVBU) 互換性を参照してください。
- NetBackup を使用する場合、最適化された合成バックアップを実装するには、ディスクプールに最適化された合成の属性フラグを設定する必要があります。これは、2.1 で作成されたコンテナのみに該当します。詳細については、『Dell DR Series System Administrator Guide』（Dell DR Series システム互換性ガイド）で最適化された合成バックアップのための NetBackup の設定を参照してください。
- 高速 NFS および高速 CIFS 用に 3.0.x ドライバを実行している場合は、レプリケーションを正常に機能させるため、ドライバを 3.1 にアップデートする必要があります。

次の情報は、ソフトウェアバージョン 2.1 からアップグレードするユーザー向けです。

- 2.x RDA with OST プラグインを使用している場合は、それをアンインストールして、プラグインのバージョン 3.x を再インストールする **必要があります**。これは、バージョン 3.0.0.1 以降はプラグインの名前が変更されているためです。

## システム情報のチェック

DR Series システムで問題をトラブルシューティングする場合は、常にインストールされた DR Series システムソフトウェアが最新であることを確認してください。関連ドライバ、ソフトウェア、およびファームウェアは [dell.com/support](http://dell.com/support) でご利用いただけます。

お使いのシステムに最新ドライバとファームウェアをダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. [dell.com/support](http://dell.com/support) にアクセスし、サービスタグを入力、またはお使いの製品を参照します。
2. **ドライバおよびダウンロード** をクリックします。
3. **View All Drivers** (すべてのドライバを表示) をクリックします。
4. すべての関連ドライバ、ソフトウェア、およびファームウェアの検索を開始するために適切な製品があることを確認します。

現在インストールされている DR Series システムソフトウェアバージョンをチェックする方法については、[dell.com/powervaultmanuals](http://dell.com/powervaultmanuals) で『Dell DR Series System Administrator Guide』(Dell DR Series システム管理者ガイド) または『Dell DR Series System Command Line Reference Guide』(Dell DR Series システムコマンドラインリファレンスガイド) を参照してください。

## DR Series システム : ドライブとシステム容量

DR Series システムには次のタイプがあります。

**DR4000 システム** 変更された Dell PowerEdge R510 アプライアンスプラットフォーム上に事前インストールされた DR Series システムソフトウェアが含まれています。

**DR4100 システム** 変更された Dell PowerEdge R720xd アプライアンスプラットフォーム上に事前インストールされた DR Series システムソフトウェアが含まれています。

**DR6000 システム** 変更された Dell PowerEdge R720xd アプライアンスプラットフォーム上に事前インストールされた DR Series システムソフトウェアが含まれています。



**メモ:** DR6000 は、搭載されているシステムハードウェアのレベルが高い点で DR4100 と異なります。DR4100 ハードウェア構成は、DR6000 プラットフォームのハードウェア要件を満たしません。

**DR2000v システム** DR Series システムの仮想マシン (VM) テンプレートです。サポートされる仮想プラットフォームの詳細については、『Dell DR Series System Interoperability Guide』(Dell DR Series システム相互運用ガイド) を参照してください。

次の表 1 は、物理 DR Series ハードウェアアプライアンスの内蔵システムドライブ容量と使用可能な物理容量を 10 進値と 2 進値で定義します。リストされる容量値は、DR Series システムリリースの関連オーバーヘッドに応じて調整された内蔵ドライブ容量と使用可能な物理容量を表します。表 2 にリストされる容量値は、DR2000v の仮想マシン OS ごとに現在使用可能な容量を表します。




**メモ:** 次の表では、TB と GB は 10 進値のテラバイトおよびギガバイトを表しており、TiB は 2 進値のテビバイトを表しています。テビバイトは、標準に基づいたバイトの 2 進の倍数であり、デジタル情報ストレージの単位です。

表 1. ドライブ容量と使用可能な物理容量

システムドライブ容量	ドライブ 9 台の容量 (ホットスペア付きで 12 台の DRV RAID 6) (10 進数)	9 ドライブ容量 (12 DRV RAID 6、ホットスペア付き) (2 進値)	15:1 節約率での論理容量合計 (10 進値)	15:1 節約率での論理容量合計 (2 進値)
4 TB (DR6000 システムのみ)	36 TB	32.74 TiB	540 TB	491.1 TiB
3 TB (DR 4100、DR 6000 システムのみ)	27 TB	24.56 TiB	405 TB	368.4 TiB
2 TB	18 TB	16.37 TiB	270 TiB	245.55 TB

システムドライブ 容量	ドライブ 9 台の容量 (ホットスペア付 きで 12 台の DRV RAID 6) (10 進数)	9 ドライブ容量 (12 DRV RAID 6、ホット スペア付き) (2 進 値)	15:1 節約率での論理 容量合計 (10 進値)	15:1 節約率での論理 容量合計 (2 進値)
1 TB	9 TB	8.18 TiB	135 TB	122.7 TiB
600 GB (DR4x00 シス テムのみ)	5.4 TB	4.91 TiB	81 TB	73.65 TiB
300 GB (DR4x00 シス テムのみ)	2.7 TB	2.46 TiB	41 TB	36.9 TiB

 **メモ:** 300 GB DR4x00 システムは、外付けの拡張セルフエンクロージャをサポートしていません。

拡張セルフエンクロージャ内の外付けデータストレージ容量についての情報は、[dell.com/powervaultmanuals](http://dell.com/powervaultmanuals) で『Dell DR Series System Administrator Guide』(Dell DR Series システム管理者ガイド) の DR Series 拡張セルフを参照してください。

表 2 にリストされる容量値は、DR2000v の VM プラットフォームごとに使用可能な容量を表します。

**表 2. DR2000v の使用可能な容量と仮想マシンオペレーティングシステムサポート**

プラットフォーム	1TB	2TB	4TB
ESX 5.0	Yes	Yes	該当なし
ESX 5.1	Yes	Yes	該当なし
ESX 5.5	Yes	Yes	Yes
Hyper-V 2012 R2	Yes	Yes	Yes
Hyper-V 2012	Yes	Yes	Yes

## 対応ソフトウェアおよびハードウェア

Dell DR Series システムの対応ハードウェアとソフトウェアの完全なリストについては、[dell.com/support/manuals](http://dell.com/support/manuals) にある『Dell DR Series System Interoperability Guide』(Dell DR Series システム相互運用ガイド) を参照してください。

## 本リリースの新機能

次のリストは、本リリースにおける主な拡張機能の一覧です。

- **DR2000v 仮想アプライアンス** — 既存の VM インフラストラクチャに展開することができる、さまざまな容量の VM テンプレート。3.1 リリースを実行している物理 DR Series システムでは、DR2000v 仮想アプライアンスのライセンスサーバーとして機能します。ライセンスを取得するには、3.1 を実行している物理 DR Series システムに DR2000v を登録する必要があります。サポートされる VM プラットフォームの詳細については、『Dell DR Series System Interoperability Guide』(Dell DR Series システム相互運用ガイド) を参照してください。
- **カスケードレプリケーション** — オプションとして、追加コピーのために、ターゲットレプリカをカスケードレプリカと呼ばれる 3 番目の場所にカスケードできるようになりました。カスケードレプリケーションは、単一または複数のコンテナをソースシステムからプライマリターゲットに複製し、その後セカンダリターゲットに複製することを可能にします。カスケード構成では現在 3 つのシステムがサポートされているため、ソースデータのコピーを 2 つ作成 (ひとつはプライマリターゲット上、もうひとつはセカンダリターゲット上) することができます。

- レプリケーションシーディング — これは、コンテナから一意のデータチャンクをすべて収集し、それらをターゲットデバイスに保管するソース DR Series システム上のプロセスです。このプロセスは、セットアップする新しいレプリケーションターゲット DR Series システムがある、複製されるデータの量が非常に多い、および/またはネットワーク帯域幅が狭い場合に役立ちます。ターゲットレプリカは、CIFS にマウントされた共有などのサードパーティ製デバイスに保存されたソースデータを使用してシードすることができます。この共有は、簡単に持ち運びできるように複数の USB ドライブに分散させることもできます。そうすることにより、デバイスをターゲットの場所に運んでターゲットに同じデバイスへのアクセスを付与することができ、従って、ソースからのデータのコピーでターゲットにシードすることになります。シーディングが完了すると、ソースとターゲット間のレプリケーションが有効になり、保留中のデータ転送を完了するためにレプリケーションの再同期化が行われます。その結果、レプリケーションが継続的に実行され、ネットワークトラフィックが大幅に減少されます。また、ターゲットに対するデータのレプリケーションと同期化を短時間で実行することも可能になります。
- GUI での SSL 証明書インストールのサポート — セキュリティ強化のため、工場出荷時にインストールされた自己署名の Dell 証明書を、サードパーティ CA によって署名された別の証明書などの別の証明書に置き換えることができます。
- Restore Manager — この機能は、3.1 への復元に必要な機能を含めるようにアップデートされました。
- Time Navigator がサポートされるようになりました。
- 高速 NFS および高速 CIFS は、Oracle RMAN によって DR6000 用に適格とされています。
- コンテナ内の NFS に対するサブディレクトリのマウントを可能にするサポートが追加されました。
- DR Rapid 暗号化がサポートされるようになりました。
- OST 搭載 RDA 駆動の op-dup レプリケーションのための暗号化がサポートされるようになりました。
- vRanger 搭載 RDA がサポートされるようになりました。詳細については、<http://documents.software.dell.com/vRanger/> で『vRanger Integration Guide for Dell DR Series Systems』（Dell DR Series システム向け vRanger 統合ガイド）を参照してください。

## 未解決の問題

ID	問題	対策
21194	Windows Computer Manager を使用したローカルユーザーおよびグループ情報へのアクセスに問題がある。	Windows Computer Manager スナップインは、共有コンテナフォルダに対する特定ユーザーとグループのアクセスを操作する共有フォルダ機能のみでサポートされています。Windows Computer Manager 内の他のスナップイン機能はサポートされていません。
21181	ライセンス登録が正常に行われた後、登録詳細の編集および保存を行うときに、GUI でライセンス登録詳細の表示がアップデートされない。	登録詳細は、CLI コマンド <code>virtual_machine --update</code> を使用してアップデートできます。
20870	ソース DR Series システムからターゲット DR Series システムへのレプリケーション時に RPC レプリケーションエラーが発生する場合があります。	プライマリおよびセカンダリレプリケーションターゲットの MTU 設定は同じにする必要があります。MTU がレプリカターゲットと同一に設定されると、レプリケーションが続行されます。
20553	特定のアンマウントオプションが高速 NFS で正しく機能しない。	-l および -f オプションは <code>rdnfs</code> アンマウント手順でサポートされていません。
20539	高速 CIFS フィルタドライバのインストール後、誤ったドライバのバージョンが表示される。	正常なインストールの完了時、ロードされたドライバのバージョン ( <code>rdcifsctl.exe driver -q</code> を使用して確認可能) がインストールされたパッケージのバージョン (コントロールパネル > インストール済み製品に

ID	問題	対策
20456	Remote Desktop の使用時、GUI での SSL 証明書ファイルのインストールが Internet Explorer (IE) で失敗した。	<p>覧表示) より古い場合は、マシンを再起動する必要があります。この問題は、システムがシステムフォルダにあるドライバファイルの名前変更/削除に失敗した場合に発生する可能性があります。</p> <p>証明書ファイルのアップロード時、GUI は完全パスを持つファイル名を使用します (これは、ローカルシステム上でのアップロード時には機能します)。RDP を使用しているときは、Internet Explorer ブラウザの設定で、次のように「ローカルディレクトリパスを含める」設定を無効にする必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. インターネットオプション&gt;セキュリティにある「インターネット」または「イントラネット」エリアで、<b>レベルのカスタマイズ</b>をクリックします。</li> <li>2. セキュリティの設定で<b>サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める</b>までスクロールダウンして、それが選択されていないことを確認します。</li> <li>3. <b>OK</b>をクリックし、ブラウザを更新します。</li> </ol>
20426	割り当てられたボンドを通過するように設定されたレプリケーショントラフィックが、引き続きデフォルトのボンド (bond 0) を通過する。	レプリケーショントラフィックが別のボンドインタフェースを通過するようにする場合は、ルートを更新するようにテクニカルサポートに連絡します。
20424	容量が残っている場合でも、「vx_nospace...」というメッセージがコンソールに表示される場合がある。	このメッセージは、大きな隣接ブロックを割り当てようとした結果として表示されます。隣接ブロックの割り当ては失敗する可能性があります、失敗すると、ファイルの隣接を維持せずに割り当てが続行されます。 <b>vx_nospace</b> エラーが表示されることはありますが、このメッセージは無視しても安全です。
20188	多数のファイル (1M 以上) に対してカスケードレプリケーションを使用するとき、セカンダリターゲット上にある実際のファイルの認識に多少時間がかかる場合がある。	セカンダリターゲットへのデータの転送が開始される前に、ソースとプライマリターゲットで名前空間の再同期化が完了し、それら両方でデータ転送が開始される必要があります。名前空間の再同期化が最初のレプリケーションペアで完了したら、2つ目のレプリケーションペアでの再同期化が開始されます。2つ目のペアで名前空間の再同期化が完了するまでは、データ転送は行われません。これにより、名前空間の再同期化完了の迅速化が確保され、スナップショットを素早く削除することができます。
20009	ユーザーに共有上での読み取り権限 (ファイルレベル/セキュリティレベル) しかないにも関わらず、そのユーザーが共有/コンテンツでファイル/ディレクトリの作成/書き込みができる。	特定のドメインユーザーに対して「Deny」「write」acl を追加することによって、そのユーザーに対する書き込み/作成操作をブロックすることができます。(この問題は Windows 2008 クライアント上で発生します。)
19975	停電後、無停電電源装置 (UPS) を使用して DR Series システムをシャットダウンする機能が必要。	IPMI インタフェースで shutdown コマンドを使ってこの操作を行う方法についての情報は、 <a href="http://">http://</a>



ID	問題	対策
19552	複製するデータがないとき（例：レプリケーション状態が <b>INSYNC</b> ）、ターゲットに十分な空き容量があるにもかかわらず、レプリケーション統計にターゲットのディスク容量が無くなりつつあると示される場合がある。	<a href="http://www.dell.com/downloads/global/power/ps4q04-20040204-murphy.pdf">www.dell.com/downloads/global/power/ps4q04-20040204-murphy.pdf</a> を参照してください。 これは、複製される保留データがあるときに、レプリケーションプロセスがターゲットの容量が満杯状態であることを検出したが、その後、保留データが削除され、レプリケーションが同期状態となったために発生します。レプリケーションがアイドル状態のときは、ターゲットディスク状態はクエリされません。同様に、レプリケーションするデータがない場合も、ターゲット容量が満杯状態であることが表示されない場合があります。レプリケーション統計におけるエラー状態は、レプリケーションが同期していない場合以外は意味をなしません。
19485	FQDN を使用しており、ホスト名に文字が使用されている場合、ホスト名の追加が機能しない。	名前は、数字のみが使用されており、名前文字列にピリオドが使用される <b>FQDN</b> ではない場合のみ追加できます。
19186	DR Rapid プラグインのセットアップ後にホスト名またはドメイン名を変更すると、間違ったバックアップモードパススルーまたは重複排除になることがある。	この情報が正しく設定されるようにするには、 <b>DR Rapid</b> プラグインをアンインストールしてから再度インストールします。
18848	Internet Explorer 9 および 10 のブラウザで <b>Global View</b> （グローバルビュー）内から <b>DR Series</b> システムに移動した後、そのシステムからログアウトして <b>Global View</b> （グローバルビュー）に戻ると、 <b>Global View</b> （グローバルビュー）を実行しているマシンからログアウトされてしまう。	この問題は他の対応ブラウザでは発生しません。ブラウザの情報については、『 <b>Dell DR Series System Interoperability Guide</b> 』（ <b>Dell DR Series</b> システム互換性ガイド）を参照してください。
18837	高速 NFS <code>rdnfs.cfg</code> ファイルに行った手動での変更がプラグインのアップデート間で保持されない。	プラグインをアップグレードした後で、もう一度手動で <code>rdnfs.cfg</code> を変更してください。この問題は今後のリリースで修正される予定です。
18178	高速 NFS の使用時に <b>AIO</b> ストレスツールが失敗する。	<b>FUSE</b> を使用する高速 NFS は <b>AIO</b> をサポートしません。
18501	同じクライアントからの並行 NFS 取り込みで高速 NFS のパフォーマンスが大幅に低下する。	クライアント上で高速 NFS を使用するときは、全体的なパフォーマンスに影響することから、 <b>DR Series</b> システムに対し、NFS を同一クライアントから並行して実行しないことをお勧めします。
18459	システムレプリケーショントラフィックアフィニティがデフォルトで <b>bond0</b> に設定されているときに、アフィニティが異なるインタフェース（例： <b>bond1</b> ）に設定されると、 <code>network-show</code> コマンドがデフォルトの <b>bond0</b> と新しく設定されたインタフェース（例： <b>bond1</b> ）の両方に対してレプリケーションアフィニティを表示し続ける。これはデフォルトインタフェース <b>bond0</b> が誤って表示されているだけです。	実際のトラフィックは、データの転送に新しいインタフェース（例： <b>bond1</b> ）のみを使用するよう内部で設定されます。

ID	問題	対策
18144	ディレクトリが 522 を超えるディレクトリ構造を作成しようとすると、File name too long (ファイル名が長すぎます) というエラーが表示される。	マウントポイント内のパスの制限は 4096 バイトです。
18022	Windows 2008 以降の新しいサーバーがローカルユーザー (システム管理者以外) をアクセス制御リスト (ACL) に割り当てることができない。Windows 2008 以降のサーバーは DR Series プラットフォームでローカルユーザーをクエリしない。	Windows 2008 以降のサーバーを使用している場合は、DR Series プラットフォーム上で ACL をビルトインシステム管理者ユーザーに割り当てます。
17661	ネットワークインターフェイスからケーブルを取り外してからネットワークを起動した場合、インターフェイスが IP を取得しない。次にケーブルを再挿入すると、IP を取得するにはネットワークを再起動する必要がある。	Advanced Networking (詳細ネットワーク) に変更を行うときは、追加または変更するインタフェースが接続されていることを確認してください。ネットワークを再起動するには、CLI コマンドラインに network --restart と入力します。
17437	DR Rapid データコピー操作中に最適化デュプレケーション-レプリケーションが失敗すると、デバイスが再び使用可能になったときに非最適化レプリケーションが実行される。	最適化レプリケーションを使用してデータコピーを実行するには、非最適化レプリケーションをキャンセルしてから新たにデータコピー操作を開始してください。
17294	DR Series システムがメンテナンスモードに移行すると読み取り専用の状態になるため、NVBU バックアップが停止する。	DR Series システムが操作モードに入ってからデータコピー操作を再開してください。
17206	詳細ネットワークにより、レプリケーションリンクの一部であるインターフェイスの IP を変更できます。	現行システム設定に影響を与えないように、新しい詳細ネットワーク設定を追加する前に現行の設定を理解してください。
17193	DR Rapid の重要メッセージ Alert RDS Restore failed (アラート RDS 復元失敗) が DR4x00 システムで報告される。このエラーに加えて、読み取り操作に失敗すると、DR Rapid プラグイン内部でイベントが生成される。	DR Rapid プラグインは、どのような種類の読み取り障害に対してもイベントを生成します。
17076	ネットワークエラーが原因でデータコピー操作に失敗すると、NetVault GUI がクラッシュする。	GUI を再起動してください。
17621、 16745	OST と RDS 操作のクライアントが同じであり、クライアント接続を手動でアップデートすると、[root@swsys-49 ~]# stats -- clients --type RDA RDA Client(s) Type plug-in OS Backup Software Last Access Connection(s) Mode r310-sys-39 RDS -- -- -- -- 0 Default という予期しないメッセージが表示される。 [root@swsys-49 ~]# ost -- update_client --name r310-	この問題を回避するには、OST と RDS プロトコルの両方に共通のマシンを使うのではなく、それぞれに異なるクライアントを使用してください。

ID	問題	対策
	<p>sys-39 --mode auto Client is connected with default values. Please update to non-default values.</p> <p>Linux システムでは、OST プラグインがすでにシステムにインストールされている場合に RDS プラグインのインストールに失敗する。</p>	
16660	BE にサーバーへの接続問題があるとき、OST プラグインに詳細なエラーを返さない場合がある。	接続障害についての詳しい情報については、クライアントログファイルを参照してください。
16427	iDRAC を使ったシステムのアップグレード時、アップグレードパッケージに新しい iDRAC ファームウェアが同時に含まれていると、アップグレードが完了しない。	CLI を使用するか、iDRAC ではなく通常のネットワーク インタフェースを使用する GUI で DR コードをアップグレードしてください。
16280	複製統計の取得を試行すると、システムが Software error: Use of uninitialized value in division (/) at helper.pl line 3548 (ソフトウェアエラー: helper.pl ライン 3548 の区別 (/) での初期化されていない値の使用) エラーを表示する。	これは、複製ターゲットが操作可能状態になっていないために発生します。複製ターゲットを修正して更新するか、CLI を使用します。この情報は、コマンドラインを使用して確認できます。デルでは、将来のリリースでこのエラーを修正します。
16053	高速 CIFS プラグインをインストールしてレプリケーションの操作を実行すると、ブルースクリーンにエラー STOP 0x00000027 (parameter1, parameter2, parameter3, parameter4) RDR_FILE_SYSTEM が表示される。	これは、Windows Server 2008 R2 または Windows 7 を実行しているコンピュータ上の共有ネットワークリソースで発生する Microsoft 製品のバグです。この問題を解決するには、MS KB2584874 を参照してください。
14950	Windows と比較して、Linux 上でのシングルストリームパススルー取り込みスロットが 30% 低い。	<p>/etc/sysctl.conf ファイルを変更してこの動作を修正することができます。次の設定を使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• filenet.core.rmem_default = 262144</li> <li>• net.core.wmem_default = 262144</li> <li>• net.core.rmem_max = 134217728</li> <li>• net.core.wmem_max = 134217728</li> </ul>
12595	GUI では 7 文字のパスワードが許可されているが、OST 搭載 RDA では 8 文字のパスワードが必要とされる。	OST 搭載 RDA ユーザーと GUI パスワードを一致させたい場合は、OST 搭載 RDA ユーザーに必要とされている 8 文字のパスワードを使用してください。
9433	スロット 0 で GHS ドライブを交換した後、グローバルホットスペアが自動的に設定されない。	グローバルホットスペアを交換した場合は、--make_standby コマンドを使ってメンテナンスを実行することによってドライブをグローバルホットスペアにします。この処置については、Dell テクニカルサポートにお問い合わせください。

## 既知の問題と解決方法

ID	問題	解決策
21075	高度なネットワークコマンドを実行した後、 <code>-show</code> 出力に誤った <b>MAC</b> が表示される。	バージョン 3.1 で修正されました。
20177	グループ名に「\$」記号が含まれている場合にグローバルビューが機能しない。	バージョン 3.1 で修正されました。
20832	<b>RDA</b> プラグイン詳細タブが、更新されて <b>NetVault</b> のプラグインとして表示されるはずなのに <b>Symantec OST</b> プラグインとして表示される。	バージョン 3.1 で修正されました。
20767、18176	<b>DR Series</b> システムがグローバルビューデータベースの一部である場合に <b>DR Series</b> のシステム名を (GUI からではなく) <code>system-setname</code> コマンドを使用して変更すると、新しい名前が反映されない。	バージョン 3.1 で修正されました。
20763	システム設定画面が静的に設定されているにもかかわらず、 <b>DHCP</b> が表示される。	バージョン 3.1 で修正されました。
20762、20626	<b>USB</b> を使用したリカバリの実行中、 <b>DR Series</b> システムのペイロードでリカバリすることができない。 <b>USB</b> のペイロードが使用され、 <b>USB</b> にあるバージョンの方が新しい場合は、リカバリプロセスが <b>DR Series</b> システムをアップグレードする。リカバリプロセスでは、 <b>DR Series</b> システムが同じバージョンに復元されるように、 <b>DR Series</b> システムのペイロードを使用する必要がある。	バージョン 3.1 で修正されました。 リカバリ操作では <b>DR Series</b> システムのペイロードだけが使用されるようになりました。リセット操作では <b>USB</b> のペイロードが選択されます。
20755	管理下ユニットのホスト名を変更すると、グローバルビューに余分なエントリが表示される。	バージョン 3.1 で修正されました。
20705	レプリケーション先として <b>DR2000v</b> を有効にする必要がある。	バージョン 3.1 で修正されました。
20689	<b>V 3.x</b> へのアップグレード後に残る古い形式のブロックマップの上書きを処理する必要がある。	バージョン 3.1 で修正されました。

ID	問題	解決策
20627	特定の条件下では、スケジュールなしで2つのシステム間でのレプリケーションを行うと、「レプリケーションが切断されました」というエラーが発生する。	バージョン 3.1 で修正されました。
20565	1.1.0.x 以下から 3.0.x への直接アップグレード後、コンテナが同期される前にアップグレードが行われる場合にレプリケーションが機能しない。	バージョン 3.1 で修正されました。
20284	Dell OpenManage Server Administrator にクロスサイトスクリプティングの脆弱性が含まれる。	バージョン 3.1 で修正されました。 Dell Open Manager が使用するポート 1311 はブロックされました。
20067、20036	サーバーの LifeCycle Controller - Unified Server Configurator におけるエラー状態のため、DR Series システムのアップグレード処理が失敗する場合がある。	バージョン 3.1 ではこれらのパッケージがオプションであるため、ロードに失敗した場合でもユニットの動作は停止しません。
20064	カスケードレプリケーションでレプリケーションが停止されたとき、または接続が切断されたときに、誤った、または古い統計情報が表示される場合がある。	バージョン 3.1 で修正されました。
19851	高度なネットワークングで CIFS コンテナパスが誤って表示される。	バージョン 3.1 で修正されました。
19848	OST インストーラが NBU 7.6 で機能しない。	バージョン 3.1 で修正されました。
19791、19775	GUI のシステム設定画面で間違った IP アドレスが表示される。	バージョン 3.1 で修正されました。
19762	サブディレクトリをマウントする機能を追加する。	バージョン 3.1 で追加されました。
19756	CLI オンラインヘルプで、「RDS」と表示されるべき場所に「RDA」が表示される箇所がいくつかある。	バージョン 3.1 で修正されました。
19655	コアを生じる極めてまれなケースに対する smb 修正	バージョン 3.1 で修正されました。
19614	「OST イメージが見つからず、vRanger が失敗します」というエラー報告機能を削除する必要あり。	バージョン 3.1 で修正されました。
19576	2つの異なるサブネットで2個のボンダイタフェースをセットアップするときに同じ静的 IP アドレスを使用すると、設定サービスが失敗する。	バージョン 3.1 で修正されました。

ID	問題	解決策
19233	システムの -init 後の「ファイルシステムが破損しています。整合性チェッカーを実行してください」というエラーをクリアする必要あり。	バージョン 3.1 で修正されました。
19184	コンテナの削除中にクリーナが起動しない。	バージョン 3.1 で修正されました。
19091	アップグレードに失敗する場合に診断を収集できない。	バージョン 3.1 で修正されました。アップグレードの失敗後に診断サービスが停止している場合は、「diagnostics-start-service」コマンドの使用によって診断サービスを開始できます。サービスが開始されると、診断情報を収集することができます。
18833	DR Series システムソフトウェアのアップグレード後に <b>Reboot</b> (再起動) リンクが有効化される。	バージョン 3.1 で修正されました。再起動リンクはアップグレード中に有効化されていましたが、アップグレード中は無効化されるようになりました。これはアップグレードの完了後に選択することができます。
18742、18629	CIFS を使用すると、アップグレード後に「指定されたネットワークの名前は使用できなくなりました...」というエラーでバックアップが失敗する。	バージョン 3.1 で修正されました。
18664	DR Series システムログオンページで無効なユーザー名を入力すると、Your password was not correct (パスワードが正しくありませんでした) エラーが表示される。	バージョン 3.1 で修正されました。正しいエラーメッセージが表示されるようになりました。
18661	ベース DR Series システムが動作中に (ケーブル接続されている) 新しい MD1200 拡張エンクロージャの電源を入ると、One of the storage enclosure has become offline, please power-off the appliance, fix the connectivity issues and power-on the appliance. (ストレージエンクロージャの 1 台がオフラインになりました。アプライアンスの電源を切り、接続の問題を解決してから再度アプライアンスの電源を入れてください) という理由エラー	バージョン 3.1 で修正されました。

ID	問題	解決策
18154	コードと共にマシンがメンテナンスモードになることがある。 DRAC 設定を LifeCycle Controller でではなく、OS 内から管理できるように DR イメージに racadm を含める。	バージョン 3.1 で修正されました。
18124	OST レプリケーション op-dup トラブルシューティングに暗号化を行う機能。	バージョン 3.1 で追加されました。
17586	DR Rapid デバイス作成後、そのデバイス用にサポートされているストリームの数を変更することができない。	NVBU 10.0 で修正されました。
17355	Dell PowerVault MD1200 拡張シェルフセットアップガイドが間違った DR Series システムの構成を表示する。	バージョン 3.1 で修正されました。
17076	ネットワークエラーが原因でデータコピー操作に失敗すると、NetVault GUI がクラッシュする。	NVBU 10.0 で修正されました。
15573	クロスサイトスクリプト攻撃を受けやすい潜在的な脆弱性に対処する必要あり。	バージョン 3.1 で修正されました。
15570	ポート 443 で SSLv 2 を無効にする必要あり。	バージョン 3.1 で修正されました。
13271	クリーナプロダクションで監視可能データを提供する機能。	バージョン 3.1 で追加されました。

## 旧リリース向けの解決方法

次の表は、DR Series システム 3.0.0.2 リリースと旧リリースの問題、説明、および解決策または回避策をリストしています。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
20111	OST バックアップ、OST OPDUP レプリケーション、およびネイティブの DR レプリケーションでの断続的なタイムアウト。		3.0.0.2 リリースで修正されました。
19984、19979	3.0.0.1 へのアップグレード後に特定のレプリケーション切断エラーが発生する。		3.0.0.2 リリースで修正されました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
19773	DR Series システムから 3.0.0.1 RDA プラグインをインストールし、その後 Windows 2008 R2 でアンインストールしようとすると、エラーが発生する。		3.0.0.2 リリースで修正されました。
19759	コンテナの作成または削除後、CLI stats-system コマンドと GUI が応答しない。		3.0.0.2 リリースで修正されました。
19491	大型ファイル (1 TB 以上) を 1,000 万個以上の小さなファイルと共に複製するときエラーが発生する。非常に大きい書き込み操作と非常に小さい書き込み操作が混在する極めて特殊な取り込みパターンにおける Scatter_repl_io エラー。		3.0.0.2 リリースで修正されました。
19528、8049	数字で始まるコンテナを作成できない。		コンテナ名は文字で始まる必要があります。数字で始まるコンテナ名はサポートされていません。
19250	コンテナの作成に CLI を使用するとき、コンテナが none のマーカー設定で作成される。		マーカーを必要とするバックアップアプリケーションを使用している場合は、CLI コマンドを使用して適切なマーカーを設定します。これを行わなかった場合、節約レベルが最適になりません。マーカーはコンテナの作成と同時に GUI で設定することができます。
19087	日次統計では、圧縮節約率が 0% であると報告される。これは単なるレポート作成問題です。		日次レポートからオプションが削除されたため、これは正しい動作です。stats-system を使用、または <b>Global View Savings</b> (グローバルビュー節約) を使用 ( <b>Savings</b> (節約) 行にマウスオーバー) する回避策で、重複排除と圧縮の割合を取得してください。



ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
18857	多対1関係を使用して多数のコネクテナ間での複製を行うとき、一部の複製マシンが <b>Peer Status</b> (ピアステータス)画面で <b>Disconnected</b> (非接続)として表示される。		これは単に表示の問題であり、複製は最終的に <b>Online</b> (オンライン) または <b>Replicating</b> (複製中) ステータスになります。
18865	時間とタイムゾーンを同時に変更すると、システムがまれにメンテナンスモードに移行してしまうことがある。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
18833	<b>DR Series</b> システムソフトウェアのアップグレード後に <b>Reboot</b> (再起動)リンクが有効化される。		3.1 リリースで修正されました。再起動リンクはアップグレード中に有効化されていましたが、アップグレード中は無効化されるようになりました。これはアップグレードの完了後に選択することができます。
18664	<b>DR Series</b> システムログオンページで無効なユーザー名を入力すると、Your password was not correct (パスワードが正しくありませんでした)エラーが表示される。		3.1 リリースで修正されました。正しいエラーメッセージが表示されるようになりました。
18712	<b>BE2010</b> および <b>BE2012</b> 使用時に <b>OST</b> プラグインの障害が発生した。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
18706	取り込みとクリーナーが同時に実行されている状況におけるクリーナー圧縮フェーズ中の取り込みパフォーマンスを改善する。		3.0.0.1 リリースで修正されました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
18540	Windows Media サーバーの Add- Remove Program (プログラムの 追加と削除) で OST プラグイン が見つからない。	Backup Exec サーバーに 複数のユーザーがいたと き、ユーザーは異なるユ ーザーとしてログインし ている間はジョブを実行 することができたが、 OST プラグインがインス トールされているかどう か、またはどのバージョ ンで動作しているかを確 認したり、プラグインの アンインストールができ るのは、プラグインがイ ンストールされた時点で ログインしていたオリジ ナルユーザーのみだっ た。	3.0.0.1 リリースで修正されました。
18453	コンテナが空で ない時における container -- delete --name [container_name] コマンドの実行 によって発生し たエラーメッセ ージに対してさ らに多くの情報 が必要。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
18452	『DR Series Administrator Guide』(DR Series 管理者ガイド)に 加え、その他の DR Series システ ムマニュアルを 含めるように GUI ヘルプメニ ューをアップデ ートする。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
18451	connection -- disable コマンド に間違っ たコン テナ名 を入力 すると、 間違っ たメ ッセージ が表示 された。 connection -- disable --name [DR に存在しな いコンテナの] -- type OST を発行 すると、次のメッ		3.0.0.1 リリースで修正されました。メッ セージはより正確にエラーの状態を説明 するものになりました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
	<p>セージ、Failed to update connection entry - Container "use a container name that is not a container on the DR" is not configured with OST connection type (接続エントリのアップデートに失敗しました。「DR内のコンテナではないコンテナ名を使用してください」コンテナは、OST接続タイプで設定されていません。)が表示された。</p>		
18393	<p>マシンがダウン、または再起動されたときに、使用状況に関するグラフ情報が収集されず、再起動後に使用状況のグラフが空白になっていた。</p>		<p>3.0.0.1 リリースで修正されました。</p>
18375	<p>10 時間以上に範囲を広げると、CIFS の最大接続数が減少し、使用状況のグラフの統計出力が不正確だった。</p>		<p>3.0.0.1 リリースで修正されました。グラフは現在最大値を計算するために AVERAGE ではなく、MAX アグリゲートを使用します。この変更は、CIFS 接続のみではなくすべてのグラフで行われています。</p>
18338	<p>Windows サーバーが参加したドメイン内で、Window サーバーが DR コンテナにアクセスできなかった。</p>	<p>DR に命名し、ドメインに正常に参加した後で、ドメイン内の Windows サーバーがドメイン資格情報を使用して DR コンテナにアクセスできませんでした。DR コンテナはそのクライアントにアクセスを許可するよう設定されていますが、コンテナには DR ローカル管理者資格情報を使用しなければアクセスできませんでした。これは、ユーザーが設定中に DR の名前を変更した、GUI で名前を変更した、または CLI で #system-setname-name (15 文字を超える名前を使用) を発行したことが原因です。</p>	<p>DR のホスト名を変更するときは、GUI がホスト名に使用できるのは 15 文字以下であるというメッセージを表示します。</p>

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
18325	Advanced Networking (詳細ネットワーク)を使用して2個のボンドを設定しているとき、両方のIPアドレスに同じホスト名が表示された。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
18275	システムをアップグレードした後、DR Series システムがドメインから外れたことにより、バックアップジョブが失敗し、コンテナがアクセス不能になった。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
18215	root または service という名前の CIFS ユーザー名を作成した場合に、それらを削除することができなかった。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
18151、17997、14534	DMA マーカーの追加、およびマーカーの検知を必要とする DMA 用のマーカーコードへの変更。	BridgeHead、NetWorker および Unix_Dump はコンテナ上で明示的に設定する必要があり、Auto (自動) マーカーオプションの一部ではない。	3.0.0.1 リリースで修正されました。自動設定 (デフォルト) は、2.X 対応の DMACommVault TSM  ARCserve  HP_DataProtector 用のマーカーを識別します。 新しいマーカーは、適切な選択肢 BridgeHead、Networker または Unix_Dump を使用して明示的に設定する必要があります。
18070	システムに 10 Gb ある場合、-system --- show --hardware   grep -i NIC コマンドが 1 Gb NIC をリストしない。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
18001	-.bashrc で完全な -F のラインから rda が欠落している。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
17999	システムのアップグレード中、CLI シェルを終了したためにソフトウェアのアップ		アップグレード処理を中断しないように指示するメッセージが追加されました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
17863	<p>ブグレードが停止した。</p> <p>システムのアップグレード後、再起動するようにプロンプトが表示され、再起動には最大 10 分かかることが GUI に示される。これは最良のシナリオで、実際には最大 30 分かかる場合があり、この間、ユーザーインターフェースはフリーズ状態になることがある。</p>		3.0.0.1 リリースで修正されました。
17796	<p>ドメインコントローラの合計数が非常に大きい場合、マシンをドメインに追加しようとする問題が発生することがある。</p>		3.0.0.1 リリースで修正されました。
17702	<p>RDS プラグインダウンロードページに Windows オペレーティングシステム用のハイブリッドインストーラが表示されず、32 ビットと 64 ビットのプラットフォーム向けの個々のインストーラのみがリストされる。</p>		3.0.0.1 リリースで修正されました。
17672	<p>システムの初回使用時にクライアントが接続されていない場合、デフォルト NetVault RDA パスワードを GUI から変更できない。</p>		3.0.0.1 リリースで修正されました。
17660	<p>同じシステムで SUSE 11 NVBU を 32 ビットから 64</p>		3.0.0.1 リリースで修正されました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
17637	ビットにアップグレードするときに、(platform not supported)プラットフォームがサポートされていないというエラーが表示される。	Integrated Dell Remote Access Controller (iDRAC) をビルトインデバイスから LOM デバイスに移動させる機能。	コマンド <code>maintenance - remote_access - enable - device lomX</code> を使用します。
17586	RDA デバイス作成後、そのデバイス用にサポートされているストリームの数を変更することができない。		この問題は、NVBU 10.0 用リリース 3.1 で修正されました。NVBU 9.2 については、テクニカルサポートでストリーム数を変更するプロセスをご用意しています。
17622	Linux システムでは、アンインストールされ削除された RDS スタンドアロンのプラグインが oca-libs でライブラリを共有しており、NVBU サーバー上で RDA デバイスが使用不能になっていた。	RDS スタンドアロンのパッケージがアンインストールされた場合、異なるバージョンの別の RDA スタンドアロンパッケージをインストールするか、NVBU を再度アップグレードするまで NVBU は動作しません (NVBU の新しいバージョンがない場合は、マシンにすでにインストールされているものと同じバージョンの NVBU にアップグレード)。	3.0.0.1 リリースで修正されました。
17440、16835、14516	さまざまなブラウザの問題が発生した。	Chrome で正しく列を選択できなかった。 ドキュメントモード IE7 標準の IE10 で Capacity (容量) グラフが表示されなかった。 ウィザードでパスワード問題を修正しようとする時、Chrome が Request unsuccessful (要求失敗)	3.0.0.1 リリースで修正されました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
15609、17349、18558	一部の特定バックアップワークフローに対するSRCとTGTの間の節約における改善。	のメッセージを表示した。	3.0.0.1 リリースで修正されました。
15492	GUIがダッシュボードに節約の割合(%)で表示するだけでなく、節約率も表示するようにしたい。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
15267	まれに発生する困難なシナリオでのファイルシステム整合性チェックを改善。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
14727	Best (最良) 節約モードでの圧縮を改善。		3.0.0.1 リリースで修正されました。圧縮オプションはGUIから削除され、コマンドラインインタフェースによってのみ変更することができるようになりました。
12362	PS 1 台のみでユニットが起動された後で2台目のPSがプラグインされると、状態が変更されたとして表示されなかった。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
8520	GUI ヘルプメニューの使用で他のマニュアルを利用可能にする。		CLI および互換性ガイドなどの追加マニュアルがヘルプで利用できるようになりました。
8490	使用状況グラフの凡例が長く、似た色が使用されていたため、分かりにくいことがあった。		リリース 3.0.0.1 で修正されました。表示するオプションを1つまたは複数選択できるフィルタが追加されました。
7041	Solaris クライアントでNFSマウントを完了できなかった。		3.0.0.1 リリースで修正されました。
18218	特定の障害シナリオで、Auto (自動) マーカーの使		2.1.0.2 リリースで修正されました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
18189	<p>用時に DR Series システムが数分ごとにメンテナンスモードになってしまった。</p>		2.1.0.2 リリースで修正されました。
	<p>アップグレード中、特定のファームウェアコンポーネントが断続的に誤ったファームウェアバージョンを報告し、これが原因でアップデートコードが失敗を報告する。</p>		
17821	<p>GUI で個々のインタフェースを設定できない。</p>		<p>これは期待通りの動作です。詳細ネットワーク操作には CLI を使用する必要があります。リリース 2.1.0.1 では、インタフェースが無効化されているときに Edit (編集) インタフェースが使用されないよう GUI がアップデートされています。DR コードのアップグレードは、iDRAC ではなく、CLI または通常のネットワークインタフェースを使用する GUI で行ってください。</p>
17820	<p>ARCserve 16 サポートが『Dell DR Series System Interoperability Guide』(Dell DR Series システム互換性ガイド)に記載されていない。</p>		2.1.0.1 リリースで修正されました。
17791	<p>データ削除とクリーナーが同時に実行されているときに「Warning: No loadable sections found in added symbol-file system-supplied DSO」エラーが発生する。</p>		<p>2.1.0.1 リリースで修正されました。DR コードのアップグレードは、iDRAC ではなく、CLI または通常のネットワークインタフェースを使用する GUI で行ってください。</p>
17790	<p>重複排除中に「Warning: No loadable sections</p>		<p>2.1.0.1 リリースで修正されました。DR コードのアップグレードは、iDRAC ではなく、CLI または通常のネットワークインタ</p>



ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
	found in added symbol-file system-supplied DSO」エラーが発生する。		フェースを使用する GUIで行ってください。
17788	Mac アドレスが変更された場合、init モード中に Restore Manager が失敗する。		2.1.0.1 リリースで修正されました。DR コードのアップグレードは、iDRACではなく、CLI または通常のネットワークインタフェースを使用する GUIで行ってください。
17772	libstspidell.dll で Backup Exec 2010 がクラッシュする。		2.1.0.1 リリースで修正されました。DR コードのアップグレードは、iDRACではなく、CLI または通常のネットワークインタフェースを使用する GUIで行ってください。
17766	レプリケーション中に「Program terminated with signal 6, Aborted」エラーが発生する。		2.1.0.1 リリースで修正されました。DR コードのアップグレードは、iDRACではなく、CLI または通常のネットワークインタフェースを使用する GUIで行ってください。
17765	alerts --email コマンドがデータベースへの書き込みに失敗する。		2.1.0.1 リリースで修正されました。DR コードのアップグレードは、iDRACではなく、CLI または通常のネットワークインタフェースを使用する GUIで行ってください。
17515	コマンド stats --clients --type が CLI で機能しない。		2.1.0.1 リリースで修正されました。
17329	装置をメンテナンスモードにする可能性があるサブシステムの監視における競合状態を修正する。		2.1 リリースで修正されました。競合状態が識別されました。
17371	特別な状況下でウェブサーバー応答コードにエラーが発生する。		2.1 リリースで修正されました。
14751	接続されてアクティブなネットワークポートによっては、UI が 10G または 1G 仕様のすべてのイ		2.1 リリースで修正されました。インタフェースの再設計が行われました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
17315	アップグレードされたコンテナにおけるセキュリティの継承操作の <b>SMBD core</b> 。	インターフェイスを表示できる。	2.1 リリースで修正されました。
17226	静的 IP の設定時に <b>GUI</b> ウィザードがエラーを表示する。		2.1 リリースで修正されました。
17216	セキュリティ <b>SSL</b> がアップデートされる。		2.1 リリースで修正されました。
17070	<b>HP Data Protector Marker</b> サポートが追加される。		2.1 リリースで修正されました。
10552	ユーザーが複製されているファイルを表示するには、 <b>GUI</b> と <b>CLI</b> の許可が必要。		1.1 リリースで修正されました。アクティブなファイルテーブルが統計コンテナページに追加されました。
15758	<b>CLI</b> を使ったホストファイルの編集機能。		2.1 リリースで修正されました。 network --host --add コマンドを使用して <b>CLI</b> 経由でホストファイルをアップデートする方法が提供されています。
15908	<b>DR4100</b> システムの <b>1G</b> オプション向けの <b>6</b> つのインターフェイスすべてが <b>GUI</b> に表示されない。		2.1 リリースで修正されました。各種設定オプションのため、すべてのインターフェイスが <b>GUI</b> に表示されるようになりました。
15943	メールリレーホストが設定されていない場合、 <b>送信</b> ボタンをクリックしても <b>GUI</b> に連絡先情報が表示されない。		2.1 リリースで修正されました。電子メールリレーホストが設定されていない場合に通知を送信しないようロジックを修正しました。
15947	すべての <b>NTP</b> 設定を <b>GUI</b> から削除するときに、誤ったエラーメッセージが表示される。		2.1 リリースで修正されました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
16262	ost --limit コマンドに対し て誤ったコマン ド構文が表示さ れる。		2.1 リリースで修正されました。
16322	より良いサポー ト機能のため、診 断における <b>ocafsd dumps</b> を 使用可能にする 必要がある。		2.1 リリースで修正されました。
16515	レプリケーショ ンの保留中バイ ト数を表示する 必要がある。		2.1 リリースで修正されました。stats- replication 出力に保留中バイト数が 提供されています。
16516	より良いサポー ト診断のため、診 断バンドル機能 におけるスタッ クトレースの抽 出を追加する必 要がある。		2.1 リリースで修正されました。この機 能が診断収集ルーチンに追加されまし た。
16916	ファイアウォー ルパケット点検 と修正のために レプリケーショ ンに失敗する。		2.1 リリースで修正されました。複製 <b>Checksum</b> が全パケットに追加されまし た。複製トラフィックのために点検パラ メータを変更する必要がある場合は、フ ァイアウォールベンダーを使用すること ができます。
16963	ルートユーザー が有効な場合に 無効にするため 、アップデート時 に動作を変更す る機能が必要。		すべてのアップグレードで、テクニカル サポートのみが使用するインタフェース であるルートユーザーのログインが無効 化されます（有効な場合）。
17167	ディスク使用率 グラフの一部に 対するタイトル を、他のものと 一貫させる必要 がある。		2.1 リリースで修正されました。
17184	<b>BUE 32</b> ビットブ ラグインをイン ストールできな い。		2.1 リリースで修正されました。
10849、11520、11636、 7752、14892、15297、 15667、15945	単一ユニット上 での複数のネッ トワークの構成 を可能にする詳 細ネットワーク		2.1 リリースで修正されました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
14228、16165	機能に対する必須サポート。 サービスモード <b>ocafsc</b> が、そのストリームでの最初のエラーのみを報告する。		2.1 リリースで修正されました。ストリーム内で発生するすべてのエラーを報告するように <b>ocadsck</b> ロジックを改善しました。
15058、15956	FS キャッシュの変更と改善が必要。		2.1 リリースで修正されました。
15967、16005	診断クリーンアップルーチン後もコアディレクターがクリーンアップされていない。		2.1 リリースで修正されました。
16441、17067	特定のコンテナで、レプリケーションが 99% で停止した後、再開されるように見受けられる。		2.1 リリースで修正されました。この問題の原因となっていたコード内の競合状態を修正しました。
16707、13296	アンダースコアを含むドメイン名を追加できない。		2.1 リリースで修正されました。
16937、16904、16806	1.x で作成され、2.x でレプリケーションされたファイルの解凍試行時における特定のシナリオでレプリケーションが失敗する。		2.1 リリースで修正されました。この問題の原因となっていた解凍ロジックの問題を解決しました。
7752、14697、15925	他のインターフェースにおける詳細ネットワークサポートレプリケーションが必要。		2.1 リリースで修正されました。単一ユニット上での複数ネットワークの構成を可能にする詳細ネットワークをサポートします。
16144	重要イベントで「Datacheck detected potential namespace inconsistency. Run file system scan as soon as possible.」（デー	コードが <b>ebusy</b> ではなく <b>enoent</b> を返すことから、メンテナンスモードアラームが誤ってトリガされます。	2.1 リリースで修正されました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
	タチェックが名前空間非整合の可能性を検知しました。できるだけ早急にファイルシステムスキャンを実行してください。)が表示される。		
16679	ファイルシステムの <b>stat</b> 呼び出しにかかるサイクルが予想以上である。	ファイルシステムの <b>stat</b> 呼び出しのパフォーマンス強化を行います。	2.1 リリースで修正されました。
16670	特定の取り込みワークフローでの重複排除障害。	多数のオフセットにアクセスするときのインライン重複排除中の障害です。これによって <b>system core</b> が生じます。	2.0.1.1 リリースで修正されました。
16655/16486	名前ではなく IP を使うと、リレーサーバーが機能しない。	リレーサーバー設定時は、名前のみの使用に制限されます。	それぞれ 2.0.1.1 および 2.1 リリースで修正されており、名前、IP、または FQDN を使用できるようになりました。
16498	NBU 向けの 32 ビット OST プラグインが 2.0.1.0 ビルドにない。GUI URL が 64 ビット プラグインをポイントしている。	リリース 2.0.1.0 を使用するときに 32 ビット OST プラグインがありません。このプラグインの URL は 64 ビットバージョンをポイントしています。	2.1 リリースで修正されており、両方のプラグインにアクセスできるようになりました。
16425	GUI が DNS サフィックスを誤ってなしと表示する。	GUI が DNS サフィックスを誤ってなしと表示しますが、CLI では正しく表示されます。	この情報を解析していたスクリプトファイル内の問題を修正しました。
16420	特定の 32 ビット Windows 2013 NBU サーバーでプラグインをインストールできない。	場合によっては、既存ドライバ上に新規ドライバをインストールすることができませんでした。	パッケージインストーラへのアップデートにより、2.1 リリースで修正されました。
16381	sdb5 を参照するログファイルメッセージのクリーンアップ。	場合によっては、ログファイルに多数のメッセージが追加されていました。	2.1 リリースで修正されました。
16247	レプリケーション中、scatter_repl	レプリケーション中、システムが	レプリケーションコードで問題を修正しました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
16426	<p><code>_io</code> タイムアウトが発生する。</p> <p>1.x から 2.x へのアップグレード後、GUI が再起動のプロンプトを表示するが、最初の再起動試行で再起動が行われなかった。</p>	<p><code>scatter_repl_io</code> エラーを表示します。</p> <p>UI で 1.x から 2.x にアップグレードするとき、再起動してもシステムが再起動されないように見受けられます。</p>	<p>この問題を解決するには、UI で再起動ボタンをクリックする前にブラウザをリフレッシュします。</p> <p>この問題を回避するため、CLI からアップグレードを行うこともできます。</p>
16083	<p>新しい iDRAC ファームウェアで検出された追加の PS センサーが原因で、Dell DR4100 システムがエラー状態になる。</p>	<p>これは、追加のセンサーを検出した新しいバージョンの iDRAC ファームウェアが原因で発生します。</p>	<p>ハードウェア監視コード内の問題を修正しました。</p>
15795	<p>DR4X00 ファームウェアのアップグレード時に、クライアント OST プラグインをアップグレードするようにユーザーを指示するメッセージが表示されない。</p>	<p>OST が使用されている場合、アップグレード中に OST プラグインのアップグレードする指示もユーザーに提示されるように UI にメッセージを追加しました。</p>	<p>ユーザーにプラグインのアップグレードも行うように指示するメッセージを追加しました。</p>
15695	<p>特殊な状況で、GUI の「使用率」ページに統計グラフが表示されない。</p>	<p>クライアントマシンと DR が同じタイムゾーンではない場合、使用率グラフに一定期間の統計が表示されない場合があります。</p>	<p>現在は、ブラウザを実行しているクライアントではなく、サーバーのタイムゾーンを使用するようになりました。</p>
15275	<p>Windows OST プラグインのインストールが DC で失敗する。</p>	<p>OST プラグインの DC へのインストールが失敗します。</p>	<p>このオプションをコードがサポートするようになりました。</p>
15067	<p>「.」を NETBIOS 名の一部として処理する。</p>	<p>AD ドメインコントローラへのドメイン参加は正常ですが、DR 4000 共有へのアクセスが失敗します。NETBIOS 名の「.」を処理 / 許可します。</p> <p>Windows クライアントから <code>test.com\administrator</code> を使用してアクセスします。</p>	<p>ドメインログイングループに「.」を使用できるようにコードパスを修正しました。</p>

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
		<pre>smb.conf: workgroup = TEST.COM realm = ad.test.com administrator@swsy s-84 &gt; authenticate -- show Domain: ad.test.com Login group: test.com \domain users administrator@swsy s-84 &gt;</pre>	
14959	ハードウェア監視が起動しないため、アップグレード後にシステムが動作状態にならなかった。	アップグレード後、ユニットが断続的に動作状態にならず、メンテナンスモードのままになります。	ハードウェア監視を起動する前に <b>SNMPD</b> のステータスをチェックするコードを追加し、この問題を解決しました。
14957	サポートバンドルが大きくなる可能性がある。これらの特殊な状況では、より詳細な情報を収集するオプションのサポートが必要である。	<p>診断収集のため、次の新しいオプションを追加。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <code>--logs</code> — ログとシステム構成のみを収集します。</li> <li>• <code>-cores</code> — コアのみを収集します。</li> <li>• <code>--auto diags &lt;#&gt;</code> — 以前の自動診断のうち、指定した番号だけを収集します。</li> <li>• <code>--tcp_dump</code> — <b>tcp</b> ダンプレポートを収集します。</li> </ul> <p><code>auto_diags</code> オプションは非常に特殊な使用例のため、非表示です。</p>	<p><code>diagnostics --help</code> 次の使用率を収集します。</p> <pre>diagnostics --collect [--name &lt;name&gt;] [--reason &lt;reason&gt;] [--force] [--dset] [--logs] [--cores] [--tcp_dump] [--all]</pre>
14949	CLI 拡張ライセンスがインストールされているにもかかわらず、ライセンスが「In Use: No」（使用中: いいえ）と表示されていた。	ライセンスの正しい状態を表示するため、CLI コマンド <code>system --show --license -verbose</code> を修正しました。	<pre>[root@swwsys-221 ~]# system -- show --license --verbose Feature ID: 3 Description: 27TB Status: Enabled Entitlement ID: Start Date: End Date: Is Eval: No In Use: Yes</pre>
14897	OST リミッタのグループ設定値を下回る。	<b>DR Series</b> システム CLI コマンド ( <code>replication --limit --speed</code> ) を使用して設定可能な調整速度制限が、設定された	この問題を解決するため、 <b>OST</b> 制限の軽微な問題をいくつか修正しました。

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
14889	SNMP トラップの E-メールがオンかオフかを示すオプションを CLI に追加。	レプリケーション帯域幅制限と一致しません。  alerts --show - email コマンドにオプションを追加しました。  Email SNMP Trap's : Yes or No	トラップの E-メールのステータスを示す追加オプションを alerts --show - email コマンドに追加しました。
14845	system --upgrade コマンドが Upgrade image not found というエラーメッセージで失敗する。	ハードウェアの CRU または FRU の交換後、DR がサポートモードで起動し、ハードウェアのアップグレードを要求する場合があります。	GUI および CLI がアップロードされたソフトウェアパッケージを同じディレクトリに配置するようになったため、ハードウェアの交換時、ユーザーによる特別な操作を必要とすることなく、必要に応じて新しいコンポーネントのアップグレードにこの同じイメージを使用することが可能になりました。
14724	レプリケーションの速度制限が期待通りに調整されない。	DR Series システム CLI コマンド (replication --limit --speed) を使用して設定可能な調整速度制限が、設定されたレプリケーション帯域幅制限と一致しません。	この問題を解決するため、レプリケーション制限の軽微な問題をいくつか修正しました。
13537	Dell DR4100 システムエンクロージャのホットアダプドがリリース 2.0 で失敗する。	DR 4000 または DR4100 システムでの外付け拡張シェルフエンクロージャの「ホットアダプド」は、2.0 製品リリースではサポートされない操作方法であるため失敗します。このエラー / 不具合の発生を回避するには、次のベストプラクティスに従ってください。 外付け拡張シェルフエンクロージャをリリース 2.0 の DR 4000 または DR4100 システムに配線して電源を入れる前に、DR Series システムの電源が切れていることを確認します。	この問題を回避するには、外付け拡張シェルフエンクロージャをリリース 2.0 の DR 4000 または DR4100 システムに接続するための次のベストプラクティスに従ってください。 <ul style="list-style-type: none"><li>DR 4000 または DR4100 システムの電源を切ります (これは Dell OpenManage 7.1 搭載の 2.0 の要件です)。</li><li>外付け拡張シェルフエンクロージャと DR4000 または DR4100 システムをケーブル接続します。</li><li>外付け拡張シェルフエンクロージャに電源を入れます。</li><li>DR 4000 または DR4100 システムの電源を入れます。</li></ul>
13580	シェルフがオフラインになった事が原因で再起動されたシステムの起動に、ユーザーの操作が必要になる。	この状態は、外付け拡張シェルフエンクロージャがオフラインになり、DR Series システムの再起動が必要になった場合に発生する場合があります。DR Series システムの起	この問題を解決するには、<F> を押して Foreign Disks (外部ディスク) をインポートし、DR Series システムの起動プロセスを続行させ、起動を正常に完了させます。プロセスが正常に完了すると、DR Series システムが起動し、Operational (動作) モードになります。




ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
13790	バックグラウンド初期化を外付け拡張シェルフで実行されると DR Series システムのパフォーマンスが低下する。	<p>動中にシステムが PowerEdge RAID Controller (PERC) H800 設定プロセスで一時停止し、&lt;F&gt; を押して <b>Foreign Disks</b> (外部ディスク) をインポートするプロンプトが表示されます。</p> <p>外付け拡張シェルフエンクロージャを DR Series システムに追加するときは常に、DR Series システムパフォーマンスに 1 回限りの影響を及ぼします。</p> <p>この影響の原因は、外付け拡張シェルフに対して実行されるバックグラウンド初期化 (BGI) プロセスです (システムの RAID ディスクにはこのような初期化が必要です)。</p> <p>BGI は、3 テラバイト (TB) の外付け拡張シェルフエンクロージャでは完了に約 2 時間かかる場合があります。</p>	<p>BGI の回避策はありません。これは、外付け拡張シェルフエンクロージャの追加時に 1 回限りで発生するプロセスです。</p> <p>外付け拡張シェルフの追加に関連する BGI 中には、DR Series システムのパフォーマンスが通常よりも遅くなることを想定する必要があります。</p>
14126	DR Series システムをリリース 2.0 にアップグレードする前に、外付け拡張シェルフエンクロージャをシステムに接続しない。	<p>2.0 より前のリリースのシステムソフトウェアを実行している DR 4000 システムに外付け拡張シェルフエンクロージャを接続して電源を入れてから、DR Series システムを 2.0 リリースソフトウェアにアップグレードすると、システムの問題が発生します。この状況を防止するには、次のベストプラクティスに従ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 拡張シェルフエンクロージャは、DR4000 システムを 2.0 リリースソフトウェアにアップグレードした後のみ、電源投入および接続を行うようにしてください。</li> <li>• 「回避策 / 解決方法」の項に記載されている推奨操作順序に従ってください。</li> </ul>	<p>この問題を解決するには、以前の DR 4000 システムを 2.0 リリースソフトウェアにアップグレードするための、次のベストプラクティスに従ってください。(この手順は、外付け拡張シェルフエンクロージャを接続して電源を入れる前に実行する必要があります)。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. DR4000 システムをリリース 2.0 システムソフトウェアでアップグレードします。</li> <li>2. DR4000 システムの電源を切ります (Dell OpenManage 7.1 搭載のリリース 2.0 で必須)。</li> <li>3. ケーブルを使用して、DR4000 システムに外付け拡張シェルフを接続します。</li> <li>4. 外付け拡張シェルフ (単一または複数) に電源を入れます。</li> <li>5. DR4000 システムに電源を入れます。</li> </ol>

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
14427	ファイルのアップロード中に、Google Chrome ブラウザがアップグレードページが応答していないと報告する。	<p>アップグレードに必要な DR4000 システムソフトウェアペイロードをアップロードしているとき、Google Chrome ブラウザが「待機」モードになっていることを示す <b>Page (s) Unresponsive</b> (次のページは応答していません) というダイアログを表示します。 <b>Page (s) Unresponsive</b> (次のページは応答していません) ダイアログには 2 つのオプションしかありません。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ダイアログリストボックスの <b>DR4000 システムソフトウェアアップグレード</b> をクリックし、<b>Kill pages</b> (ページを強制終了) をクリックします。</li> <li><b>Wait</b> (待機) をクリックします。</li> </ol>	現時点ではこの問題を回避する方法はありません。デルでは、 <b>Wait</b> (待機) をクリックして、 <b>DR 4000 システムソフトウェアアップグレード</b> のアップロードを完了するために十分な時間を取ることをお勧めします。
14895	オペレーティングシステムのインストール完了後に USB キーを取り外すため、Restore Manager がメッセージを追加する必要がある。	<p><b>Dell DR Restore Manager</b> オペレーティングシステムインストールプロセス中に使用された USB キーは、オペレーティングシステムの正常なインストール後に取り外さなければ、上書きされる可能性があります。</p>	<p>USB キーの上書きを防ぐため、オペレーティングシステムインストールが正常に行われたときには、次のベストプラクティスに従うことが推奨されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>USB キーを取り外します。</li> <li>システムを再起動します。</li> </ol>
14920	エンクロージャへの電源を強制終了した後のソフトロックアップによりカーネルパニックが発生する。	<p>ソフトロックエラー状態は、アクティブなデータ取り込みが進行中で、外付け拡張シェルフエンクロージャのいずれかが両方の電源装置を失うと発生する可能性があります。</p> <p>移動中の書き込みデータに関連するエラーが検出されたため、<b>DR Series</b> システムは「カーネルパニック」を起こし、再起動します。</p> <p>再起動中、外付け拡張シェルフエンクロージャにすでに電源が入っていて、PERC コントローラキャッシュにアクティブな</p>	<p>この問題を解決するための回避策には、次を実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>BIOS コンソールに表示された指示に従う、またはサポートを受けるためにデルサポートに問い合わせます。</li> <li>外部設定をインポートします。</li> <li>設定を確定します。</li> <li>設定ユーティリティは実行しないでください (設定がクリアされません)。</li> <li>これらの手順には確実に従うようにしてください。従わない場合、データが失われます。</li> </ol>

ID	問題	説明	回避策 / 解決方法
		移動中データが存在した場合、DR Series システムは BIOS ウィンドウに残ります。	

## 困ったときは その他の情報

 **警告:** 詳細については、DR Series システムに付属の安全および認可機関に関する情報を参照してください。保証情報は、このマニュアルに含まれている場合と、別の文書として付属する場合があります。

リストされている文書はすべて [dell.com/support/manuals](http://dell.com/support/manuals) でご覧いただけます。

文書	説明
『 <i>Dell DR Series System Getting Started Guides</i> 』 (Dell DR Series システム 使用開始ガイド)	該当する物理 DR Series システムのセットアップと技術仕様の概要が記載されています。
『 <i>Dell DR Series System Owner's Manuals</i> 』 (Dell DR Series システムオーナーズマニュアル)	該当する物理 DR Series システムの機能、DR Series システムのトラブルシューティング、DR Series システムコンポーネントの取り付けまたは交換に関する情報が記載されています。
『 <i>Dell DR2000v Deployment Guides</i> 』 (Dell DR2000v 導入ガイド)	仮想化 DR Series システム DR2000v の該当する仮想プラットフォームへの導入についての情報が記載されています。
『 <i>Dell DR Series System Administrator Guide</i> 』 (Dell DR Series システム 管理者ガイド)	DR Series システム GUI を使ったバックアップおよびレプリケーション操作の管理についての情報が記載されています。
『 <i>Dell DR Series System Interoperability Guide</i> 』 (Dell DR Series システム 相互運用ガイド)	DR Series システム対応のハードウェアおよびソフトウェアについての情報が記載されています。

『Dell DR Series  
System Command  
Line Reference  
Guide』 (Dell DR  
Series システム  
コマンドライン  
リファレンスガ  
イド)

DR Series システムのコマンドラインインターフェース (CLI) を使用した DR Series システムのデータバックアップおよびレプリケーション操作の管理についての情報が記載されています。

- メモ: アップデートには他の文書の内容を差し替える情報が含まれている場合がよくあることから、[dell.com/support/manuals](http://dell.com/support/manuals) で文書のアップデートがないかどうかを常に確認し、最初にお読みください。
- メモ: リリースノートには特定の製品リリースにある既知の問題に関する最新の情報が記載されているため、まず最初にお読みください。

## デルへのお問い合わせ

- メモ: お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

[dell.com/contactdell](http://dell.com/contactdell) にアクセスします。

## システムサービスタグの位置

お使いのシステムは一意のエクスペレスサービスコードおよびサービスタグ番号によって識別されます。エクスペレスサービスコードおよびサービスタグは、物理 DR Series システム前面で情報タグを引き出して確認します。これは、GUI のサポートタブでも確認できます。この情報は、サポートの問い合わせ電話をデルが適切な担当者に転送するために使用されます。

## マニュアルのフィードバック

本マニュアルに対するフィードバックは、[documentation\\_feedback@dell.com](mailto:documentation_feedback@dell.com) まで E-メールを送信してください。または、デルマニュアルページにある **Feedback (フィードバック)** リンクをクリックしてフォームに入力し、**Submit (送信)** をクリックしてフィードバックを送信していただくこともできます。